

平成 24 年 1 月 20 日(金)

南日本新聞掲載

本校義岡教諭、全国高体連研究大会最優秀賞に輝く

全国高体連研究大会が閉幕 最優秀賞に義岡さん(串良)



最優秀研究賞を受ける義岡昌明教諭(左)＝19日、鹿児島市の県民交流センター

第46回全国高校体育連盟研究大会最終日は19日、鹿児島市の県民交流センターであり、最優秀研究賞に串良商の義岡昌明教諭(32)ら3人が選ばれた。優秀研究表彰は前回

から始まり、今回から最優秀賞を創設。運動部関係者が部活動指導など通じて得た成果など13の研究発表のうち、三つの分科会から一つずつ選んだ。最優秀は当初1人の予定だったが「優秀つけがた部」として決まった。義岡教諭は第1分科会(競技力の向上)で、高校サッカー選手に必要な基礎体力強化を図るための、ボールを利用したトレーニングプログラムを発表した。

ダッシュを取り入れたゲーム形式の対人練習などを通してスピードやパワー、持久力などが改善されたほか、心拍数をチェックすることで「目標設定値に到達しようと、追い込んで練習するようになった」と報告した。義岡教諭は「協力してくれた皆さんのおかげ。7年後の南九州総体、8年後の鹿児島国体に向けた競技力向上の一助となれば」と話した。他の受賞者は次の通り(敬称略)。

第2分科会(健康と安全) 田野辺満(福井・鯖江)▽第3分科会(部活動の活性化)浦井雅之(茨城・水戸三)